



教育を取り巻く環境が急激に変化する時代にあって、課題解決と施策の方向性を明確にするためには、戦略的視点からのアプローチが不可欠

👉 **3つの戦略的視点**

- I SDGsにおける「誰一人取り残さない」という基本理念のもとでの「ESD※」
 - II 学校におけるデジタル技術の活用促進（DX）に向けた「GIGAスクール構想」
 - III 生涯にわたり学び続けるための「**学びの循環**」
- ※ Education for Sustainable Development
持続可能な開発のための教育

■人材育成のキーワード（自立・貢献・共生・創造）

学び支援プラン 2025 がめざす人材育成のキーワードは「**自立・貢献・共生・創造**」

4つの 資質・能力

自立 : 自ら考え判断し、行動する力
貢献 : 他者や社会のためになることに進んで取り組む態度
共生 : 他者の話に耳を傾け、力を合わせて課題を解決する力
創造 : ゼロからイチをつくり出す力

SDGs の理念の実現、超スマート社会（Society5.0）の到来、「人生 100 年時代」への対応、新たな感染症への備えなど急激に社会が変化し予測が困難な時代において、4つの資質・能力を備えた人材、即ち「**自立**した人間として、社会に**貢献**し、地球市民として**共生**に努めながら、新たな価値を**創造**する人材」を育成することをめざす。

■事業の4つの柱

教育ビジョン 2025 は、3つの基本的方向性に沿った9つの重点施策を掲げている。

学び支援プラン 2025 においても、これら重点施策ごとに個別事業を体系化しているが、特に、最重点事業（柱となる事業）として次の4つを掲げ推進する。

柱Ⅰ「保幼小接続・小中一貫教育の推進」

柱Ⅱ「板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の推進」

柱Ⅲ「教職員の働き方改革」

柱Ⅳ「誰一人取り残さないための居場所づくり」